

22 sat

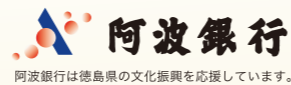
10:00~10:10	徳米座	寿二人三番叟	CD
10:15~10:45	名月座	傾城阿波の鳴門 順礼歌の段	太夫:中内鶴昇、南公雄 三味線:豊澤町若
10:50~11:10	阿波人形浄瑠璃 城北座	壺坂観音霊験記 沢市内の段	太夫:宮崎照美 三味線:鶴澤友丸
11:15~11:30	阿波十郎兵衛座	えびす舞	音頭・鼓:阿波十郎兵衛座
11:50~12:20	義太夫節メドレー	太夫:友成会、城北会、友和嘉会	
12:30~13:00	あわ工芸座	寿二人三番叟	太夫:竹内雅代 三味線:鶴澤友輔 (ツレ)木内千陽
13:10~13:40	鳴門座	傾城阿波の鳴門 順礼歌の段	太夫:大橋后代 三味線:竹本友和嘉
13:50~14:30	寄井座	生写朝顔日記 宿屋から大井川の段	太夫:竹本友代 三味線:鶴澤友輔
14:50~15:35	PREMIUM三味線LIVE	津軽三味線:小山豊 ギター:渥美幸裕 義太夫三味線:鶴澤友輔 太夫:竹内雅代 人形:青年座・ポラリス座	
15:45~16:30	UMITOKAMI	ダンス:高瀬譜希子、山本裕 和太鼓:佐藤健作 尺八:長谷川将山 ダンス:四国大学、あすなろバレエスタジオ 人形:阿波十郎兵衛座	

23 sun

10:00~10:15	阿波木偶箱まわし 保存会	三番叟まわし	
10:25~10:50	小松島西高等学校 勝浦校民芸部	傾城阿波の鳴門 順礼歌の段	太夫: 小松島西高等学校勝浦校民芸部、長野紫寿 三味線: 小松島西高等学校勝浦校民芸部、竹本友和嘉
10:55~11:10	とくしま座	寿二人三番叟 鈴の段	CD
11:25~11:55	義太夫節メドレー	太夫:友和嘉会、友輔会、喜笑会	
12:10~13:10	ふれあい座	壺坂観音霊験記 沢市内の段 壺坂観音霊験記 山の段	太夫:森口和奏 三味線:竹本友和嘉 太夫:船橋美和 三味線:竹本友和嘉
13:20~13:45	中村園太夫座	阿波遍路恋唄	太夫:竹内雅代、新田光香 三味線:鶴澤友輔
14:00~14:30	阿波人形浄瑠璃 平成座	恋女房染分手綱 重の井子別れの段	太夫:竹本友幸 三味線:鶴澤友春
14:45~15:25	勝浦座	艶容女舞衣 酒屋の段	太夫:吉本藍玉 三味線:竹本友和嘉
15:45~16:30	PREMIUM三味線LIVE	津軽三味線:小山豊 ギター:渥美幸裕 義太夫三味線:鶴澤友輔 太夫:竹内雅代 人形:丹生谷清流座	
16:40~17:25	UMITOKAMI	ダンス:高瀬譜希子、山本裕 和太鼓:佐藤健作 尺八:長谷川将山 ダンス:四国大学、あすなろバレエスタジオ 人形:阿波十郎兵衛座	

※事情により、出演者・演目等を変更させていただくこともございますがご了承ください。

主催:公益財団法人徳島県文化振興財団、公益財団法人阿波人形浄瑠璃振興会、一般社団法人徳島新聞社
協賛:学校法人四国大学、あすなろバレエスタジオ
後援:四国放送株式会社、株式会社エフエム徳島
助成:一般財団法人地域創造



DISCOVER

精妙な人形、
唸る声、
躍動する
身体、
至高の音

7月
22 土曜
(開場9:30-開演10:00-終演16:30)

23 日曜
(開場9:30-開演10:00-終演17:25)

阿波人形浄瑠璃

Re.
あわ文化

正統の古典と変幻自在のコラボ
これぞ、阿波人形浄瑠璃フェスティバル!



阿波人形浄瑠璃は、義太夫節の浄瑠璃と太棹の三味線、3人遣いの人形の三者によって演じられる人形芝居で、徳島が全国に誇る伝統芸能として現在まで受け継がれています。徳島では、小屋掛けの舞台や、農村舞台など野外で演じられてきたため、文楽と比べて大きくて光沢のある人形を使い、観客にアピールするよう大きな振りで演じられてきた特色があります。そんな阿波人形浄瑠璃のフェスティバルである「Re.あわ文化」は、先人達が長く続けてきた「夏期阿波人形浄瑠璃大会」を受け継いでいるイベントであり、夏期阿波人形浄瑠璃大会の頃から数えると、今年で77回目を迎えます。長く継承され磨きぬかれた阿波人形浄瑠璃と、こうした伝統に寄り添いながら、一流のアーティスト達が人形浄瑠璃を冠した珠玉のコラボとでお送りする阿波人形浄瑠璃フェスティバル。どうぞ、ゆっくりとお楽しみください。

太夫部屋



喜笑会きしょうかい

太夫:中内鶴昇、南公雄、新居和昇

三味線:豊澤町若

明治20年頃、神山町の高橋瑞月氏が「鬼笑会」を興し、昭和45年に「喜笑会」と改め、豊澤町子師匠を指導者とする新しい浄瑠璃部屋を開く。会員数は少人数ながらも、世話物や時代物など幅広く習得し、平成25年に豊澤町子師匠は、後継者を多く育て阿波人形浄瑠璃の継承に貢献した功績が認められ、地域伝統文化功労者表彰を受賞した。現在は、2015年より豊澤町子の弟子・豊澤町若が後継者として舞台をつとめ、技の研鑽や伝統文化の継承に力を注いでいる。

城北会じょうほくかい

太夫:宮崎照美、久次米三枝子

三味線:鶴澤友丸

阿波人形浄瑠璃城北座の中で大夫・三味線ともに活動していたが、平成23年4月、三味線奏者の鶴澤友丸を師匠として「城北会」を立ち上げた。同年、台湾で開催された「亜太伝統芸能節」に中村園太夫座とともに出演し、日本の伝統文化である人形浄瑠璃の魅力を広めた。毎夏開かれる阿波人形浄瑠璃傳承教室を含め、母校である徳島県立城北高校民芸部へ太夫・三味線の指導を行っており、平成16年には、城北高校民芸部創部50周年を祝う記念公演では、人間国宝・鶴澤友路師匠を招き、部員達とともに、民芸部出身である元文楽座技芸員の勸緑氏、青年座と共演した。

友輔会ともすけかい

太夫:竹内雅代、新田光香、林壽子

三味線:鶴澤友輔、木内千陽

平成13年発足。師匠の鶴澤友輔は平成12年人間国宝鶴澤友路師匠より拝命。国民文化祭・とくしま2007では瀬戸内寂聴原作の新作浄瑠璃「義経街道娘恋鏡」[モラエス恋遍路]の作曲・演奏を、2012年の国民文化祭では「阿波の心」の作曲と弾き語りを担当する。他にも多数の新作浄瑠璃を手掛け、今回上演する「阿波遍路恋唄」の脚本・作曲も手掛けている。新作だけではなく基礎となる古典を軸に、物語の世界を大事に、登場人物の想いを大切に語ることを心がけ、“浄瑠璃が好き、楽しい”と思う気持ちを忘れずに、県内外の大会への出演し、日々師匠とともに精進している。昨年はドイツ公演にも参加し阿波人形浄瑠璃の発展に努めている。

友和嘉会ともわかかい

太夫:大橋后代、長野紫寿、森口和奏、船橋美和、吉本藍玉、佐中かをり、澤田芽衣、内田美峰

三味線:竹本友和嘉

平成9年に人間国宝、鶴澤友路師匠より拝命した竹本友和嘉師匠(重要無形文化財「義太夫節」総合認定保持者)を指導者として発足。現在、会員数20名と徳島最大の語りの会に成長。会の活動は、十郎兵衛屋敷の公演や農村舞台公演など徳島県内はもとより、淡路、大阪、三重県の安乗人形芝居(重要無形民俗文化財指定)などの県外の大会や、フランス、オーストリアなど海外公演にも積極的に参加、阿波人形浄瑠璃の継承と発展につとめている。今年6月に行われた、米国ニューメキシコ州サンタフェの「国際民芸博物館」などでの公演はいずれも高い評価を得、人形浄瑠璃が国や言葉を超えて人々に感動をもたらし、世界に誇る文化であることを証明した。

友成会ゆうせいかい

太夫:竹本友幸、竹本友希

三味線:鶴澤友春

「三業一体」を旨として結成された平成座は、太夫・三味線の育成に力を注いでおります。平成10年、淡路の義太夫節三味線人間国宝・鶴澤友路師匠に師事。平成12年、鶴澤友路師匠の「友」と平成座の「成」で「友成会」結成。平成座30周年記念行事として「友成会」素浄瑠璃公演会を開催。愛知県吉田文楽保存会から依頼を受け、長年、太夫・三味線をつとめる。竹本友幸は、平成9年より川内北小学校にクラブを作り太夫を指導。出前教室も行い、後継者育成に励んでいる。



UMITOKAMI

世界的に活躍するダンサー・高瀬譜希子、和太鼓に選ばれた男・佐藤健作、奇才の舞踊家・山本裕、革新の尺八奏者・

出　　演 ダンス:高瀬譜希子、山本裕　和太鼓:佐藤健作　尺八:長谷川将山
ダンス :朝倉純子、神崎莉々子、牧本いづみ、米澤しらべ、原田涼那、神崎百々葉、森本佳代 人形 :阿波十郎兵衛座
演出・振付 高瀬譜希子 衣装 (高瀬譜希子) 山田いずみ 衣装 (佐藤健作) 大脇幹裕
衣装 (山本裕、長谷川将山) 小野寺宏実 照明 辻井太郎



高瀬 譜希子

Fukiko Takase

ダンサー／振付家／教師　ニューヨーク生まれ、日本育ち。高瀬多佳子、折田克子に師事。文化庁在外研修員として3年間、ロッテルダムのコダーツとロンドン・コンテンポラリー・ダンス・スクールで更にトレーニングを重ねる。2006年-2018年Henri Oguike Dance Company及びCompany Wayne McGregor入団、イギリス国内外で活躍。2018年独立、活躍の場を世界に広げる。Atoms for Peaseミュージックビデオ「Ingenuae」にてトム・ヨークと共演。宇多田ヒカル「Forevermore」ミュージックビデオ振付、宇多田ヒカル20周年記念コンサート「Laugher in the Dark Tour」に、スペシャルゲストとして振付出演。UNIQLO、TOYOTA、Diner’sClubCM出演及び、オノ・ヨーコ作品「CutPiece」出演。2021年ShobanaJeyasingh作品「Contagion」出演、NottingHill Outside In Festivalにて新作「See Art Through the Body」イギリスロンドン初演。Akram Khan Company入団。四国大学特認教授に認定される。



山本 裕

Yu Yamamoto

新人賞、ダンスプラン賞、全国舞踊コンクール第1位、Outstanding Contemporary Choreographer Award (アメリカ)、Dance Theater Prize (チェコ)など多数受賞。文化庁新進芸術家海外研修員制度でオランダのスカピノーバレエ団に1年間留学。ヨーロッパやアジアのフェスティバルより招待、ゲスト出演している。国内では江戸東京博物館スカイツリー完成記念特別公演、瀬戸内国際芸術祭、六本木アートナイト、都民芸術フェスティバルなどの振付家に出出。さわかみオペラ芸術振興財団ジャパンオペラフェスティバル「椿姫」では振付を担当し、ポロニーヤ歌劇場フィルハーモニーと共演する。世界的アーティスト“AmPm”のMVにソロ出演、FUJIFILM化粧品「アスタリフト」アジア向けPVに出演、またDragon AshやORBITのMVの振付を手掛ける。オン・ステージ新聞の新人振付家ベストに選出。振付家、ダンサーとしての実績とジャンルを超えた幅広い活躍が評価され、各地の芸術祭のアートディレクターを務める。

PREMIUM 三味線LIVE

伝統の確固たる継承と枠にとらわれない柔軟かつ新たな発想で、津軽三味線や民謡の魅力と価値を伝え続けている<小山豊>と、伝統邦楽が持つ魅力を西洋楽器であるギターを通して次世代、全世界への普及、伝承に尽力する<渥美幸裕>が、結成したユニット。三味線とギターが奏でる、今…真に求められているニッポンの音楽、そして、地に足を着けた“未来進化系音楽”を体感していただきます。
出　　演 津軽三味線:小山豊、ギター:渥美幸裕
義太夫三味線 :鶴澤友輔、 太夫 :竹内雅代
人形 :青年座・ポラリス座(22日)、丹生谷清流座(23日)

演奏曲目	1.津軽じょんから中節 — 2.木頭音頭 — 3.祖谷の粉ひき節 — 4.纏う — 5.いぞみ — 6.寿式三番叟「銀の段」より
-------------	---



小山 豊

Yutaka Oyama

津軽三味線日本最大流派の1つである小山流三代目。幼少より祖父である宗家・小山貢翁に師事。2001～2年(財)日本民謡協会津軽三味線コンクールで優秀賞を連続受賞。2011年「OYAMA×NITTA」でNY・カーネギーホール主催コンサートを成功させる。以降、「ARASHI LIVE TOUR 2015 Japonism」他では和楽器隊を率いて参加する等「嵐」への楽曲参加、「松山千春コンサートツアー」ゲスト参加など、国内外(海外30カ国)で様々なアーティストと多岐にわたる演奏活動を展開中。2020年ソニー・ミュージックダイレクトよりメジャー初となるアルバム「-obi-」をリリース。近年では、数多くのゲームやアニメ音楽、特に【鬼滅の刃 遊郭編】への録音参加は大きな話題となる。2022年 新たな民謡の形を提唱するバンド「東京民謡倶楽部」を結成し、2023年初のアルバムをリリース。

公式WEB　http://oyamayutaka.com/



佐藤 健作

Kensaku Satou

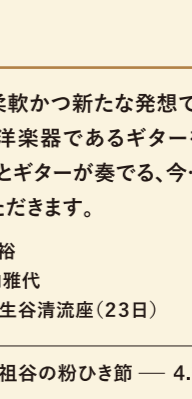
和太鼓歴42年。2021年、東京2020オリンピック閉会式にて大太鼓「不二(ふじ)」をソロ演奏する。1998年サッカーワールドカップ・フランス大会閉会式にて大太鼓を演奏。2007年人間力大賞準グランプリ、2008年和太鼓奏者初の文化庁芸術祭新人賞受賞。2016年イギリス国営放送BBCの番組「グローバルビーツ」に出演。2018年、2020年、在フィンランド日本国大使館主催公演など、海外公演多数。2020年、真矢ミキ主演「ドラマティック古事記」(読売大手町ホール)等、一流アーティストたちとの共演を多数行う。高千穂神社、厳島神社、出雲大社、熊野本宮・那智大社など神社神域での奉納演奏を行う。長野の霊地・戸隠に稽古場をかまえる。圧倒的打法と高い芸術性で「和太鼓に選ばれた男」と称される。



長谷川 将山

Shozan Hasegawa

藤原道山に師事。東京藝術大学大学院修了。同声会賞、第28回市川市文化振興財団新人演奏家コンクール(邦楽器部門)最優秀賞、東京藝大アートフェス2022グランプリ東京藝術大学長賞受賞。平成30年度 文化庁新進芸術家国内研修員修了。「現代邦楽研究会」主宰、「長谷川将山尺八研究所」主宰。都山流尺八楽会 師範、日本三曲協会、日本尺八演奏家ネットワーク(JSPN)、都山流道山会会員。尺八アンサンブル「風雅竹韻」、和楽器オーケストラ「あいおい」、「アンサンブル室町」メンバー。法政大学三曲会講師。東京藝術大学教育研究助手。明星大学非常勤講師。YouTubeにて多重録音企画「全員将山」を展開中。藤井風、山内恵介をはじめとする様々なジャンルのアーティストと共演し、ボーダーレスな活動を行う一方で、新作委嘱や既存作品の研究を行うなど、尺八音楽を多角的に見つめている。



渥美 幸裕

Yukihiro Atsumi

日本の伝統音楽を、ギターを通して現代にアップデートし、その魅力を世界に伝えながら次世代へと継承するプロジェクト「邦楽ニ.〇」主宰。伝統音楽のさまざまな音楽的仕組みから「Japanese Guitar」の開発、新日本音楽の作曲に取り組む。京都を制作拠点とし、これまでに祇園宮川町の芸妓、文楽座、天台声明など、さまざまな邦楽・民謡の演奏者と共演して古典曲を編曲。2021年には自身の作品「花鳥風月」、「京」が世界12ヵ国のiTunes・Apple Musicのインストールメンタル部門で1位を獲得。2022年、津軽三味線の小山豊率いる「東京民謡倶楽部」、奄美民謡の鳴者である前山真吾の作品「AMAMISM」をプロデュース。2023年、「邦楽ニ.〇」新作「環境邦楽」発表予定。

公式WEB　https://atsumiyukihiro.net/